

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1475001440	事業の開始年月日	平成18年2月1日	
		指定年月日	平成18年4月1日	
法人名	有限会社 啓和会メディカル			
事業所名	グループホーム 啓和			
所在地	(210-0837) 神奈川県川崎市川崎区渡田 2 - 7 - 13			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	18名	
自己評価作成日	平成22年9月23日	ユニット数	2ユニット	
		評価結果 市町村受理日		

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

健康管理についてかかりつけ医(内科)・かかりつけ薬剤師との連携の強化をし認知症については生活の不利の側面からの理解だけでなく病理的な理解を深める為の調整が行われている。また高齢者とのかわりやすい歯科・皮膚科・眼科には往診を頼める医師の協力があり一人ひとりの現病歴・既往歴の把握とそのリスクについて予想し先回りしたフォローをしている。病変時にも回復に努力し万一入院された時にも早期退院を各機関と連携し認知症の進行の防止ご利用者様の生活の復帰に努力している。転倒予防体操等も積極的に取り組んでいる。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成22年10月28日	評価機関 評価決定日	平成23年1月4日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の概要】 この事業所は、JR川崎駅からバスで10分ほどの住宅街の一角にある。建物は木造造りの2階建てで1～2階を使用している。内部は、木のぬくもりが感じられる。すべてバリアフリーで掃除が行き届いて清潔感がある。玄関前には季節の草花のプランターや木製のベンチが置かれいつでも誰でも気軽に立ち寄れる場となっている。</p> <p>【医療連携と健康管理】 利用者の診療については、協力医療機関の医師が月2回訪問診療を行い、適切な医療や健康管理が受けられるよう支援している。歯科医は連絡をして訪問してもらい、治療や口腔ケアの指導を受けている。利用者の心身の変化や緊急時には協力医療機関の医師や訪問看護師と24時間いつでも相談や対応できる体制がある。</p> <p>【地域との交流】 町内会に加入し、地域の盆踊り、清掃活動や小学生との交流をしている。玄関先には「介護相談」のポスターを掲示し、地域住民の相談を受け入れている。また、秋田の専門学校を学生を現地研修の形で一週間受け入れている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム 啓和
ユニット名	チューリップ

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は、法人の共通理念をもとに掲示するだけでなく職員が日常の業務に生かし実践できるように努めている。	法人の理念を基本理念として、「職員の姿勢」と一緒に玄関に掲示している。職員は新人研修やフロア会議で話し合い利用者の尊厳ある生活保持を第一に日々のケアに活かして実践に努めている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会とのイベントに参加させてもらっている。節分やお祭り・盆踊り・運動会への参加をしている。	町内会に加入し、盆踊り、清掃活動や神社の豆まきに参加している。小学生との交流や地域のボランティアによる活動を受け入れている。玄関先に「介護相談の受付」のポスターを掲示して住民の相談を受けている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護相談室の設置と施設外部に掲示物でお知らせをしている。他施設や介護保険の使い方等の説明。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長や地元の有識者や地域包括支援センターの方から意見を聞く機会として防火・防災活動への参加、小学校の課外授業での利用を通じて情報交換の場として提供を努めている。	管理者の交代があったが今年1回開催している。事業所の活動状況や現状について報告している。また、スプリンクラーの設置や防火・防災訓練の対策などについて意見や助言をもらっている。	基本理念で「地域社会と連携して・・・」とあるように地域関係者（町内会役員、民生委員、地域住民）や利用者家族などに参加を働きかけることが望まれる。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターや市の担当者から独居高齢者の支援についての相談や情報交換をしている。	地域包括支援センターとは入居者の相談や情報交換を行っている。区の生活保護課とは受給を受けている入居者の相談や手続きについて連絡を取っている。	区の担当者と連絡を密に取り、事業所の日頃の取組みを伝えながら協力関係を築くことが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>マニュアルを利用し身体拘束をしないことを周知徹底し止むを得ず行った場合にも家族の同意を得て行い、緩和・撤廃にむけて努力をしている。フロア入り口は家族の同意を得て施錠。</p>	<p>事業所では、身体拘束を行わないことを利用契約書に明示している。管理者はユニット会議で「身体拘束ゼロへの手引き」により職員に指導している。日中は玄関を施錠していない。各ユニットは安全のため家族の了解を得て施錠している。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待対応マニュアルを利用し理解を深め隠れた虐待の可能性は入浴時にスキンチェックを行い確認している。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見人に相談・協力してもらっている。また、入居の方においても必要があれば説明や関係機関への紹介を行っている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書のほかに説明を行いながら重要事項説明書・ご家族同意書を作成している。苦情等は、随時受け付けている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>定期的に評価とモニタリングを行いご家族に確認または郵送している。家族が来訪時に聞き取りを行い問題点・疑問点を吸い上げている。</p>	<p>家族の訪問時、事業所の行事への参加時、介護計画の説明時に意見、要望を聞いている。家族から居室のテーブルは危険なこともあると意見が出され、すぐに取り除いたケースがある。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、フロア毎の会議を開催し日ごろから提案や意見、気付いた事を話している。	フロア会議で食事の内容について意見があり、現在法人で検討中である。管理者は、職員の個別面談を行い提案や意見を聞く機会を設けている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	交付金の利用により手当での改善を行った。介護職員処遇改善計画書の掲示。研修への参加費用は負担をしている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月施設内掲示版に講習会の情報を掲示し参加を促している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	デイサービスで行われている唄会に参加したり遠足時に人員の協力をお願いしている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時に、本人が困っている事や不安なことが無いかな傾聴し本人やご家族が安心してサービスを受けられるような安心を確保する関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期相談にて対応している。場合によってはご自宅まで行くこともある。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他サービスを必要だと思われる方には紹介を行ったり相談に乗るようにしている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の立場になって物事を考える。信頼関係を得た上で本人・本意での生活を支援している。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	イベント等に家族への参加の呼びかけを行い協力してもらうことにより職員と家族との関係を築いている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族を通じて友人宅などに連絡を入れホームに來訪して頂けるように支援している。	友人や知人の訪問は歓迎している。知人との手紙のやり取りや家族に電話をかける支援をしている。家族の法事や墓参りへの出席を支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係をうまく関われるように毎日少なくとも皆で話しをする時間を設けている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご退去時に必要な支援や他機関への紹介を行ったりご家族へ連絡を入れその後の近況を聞いている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	担当のスタッフが本人の希望・意見を聞き出来るだけ希望に沿うように支援している。	利用者個々の思いや暮らし方の要望については、入居時のアセスメントや日常生活の中で話を聞き把握している。意向の把握が困難な方については、日々の暮らしの中で表情や行動を観察したり、家族から情報を得て対応している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとり利用者さんの生活歴を把握して出来るだけ今までの生活を継続出来るように努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとり利用者さんの心身状態・残存能力を把握しその方に合った生活を支援して毎日楽しく過ごせるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画を作成するに当たり家族や担当スタッフ・医療担当者から情報を頂き三ヶ月毎に介護計画を作成し状態の変化があった時は随時見直している。	介護計画は3ヶ月ごとにモニタリングを行い見直している。利用者や家族の要望を聞き、フロア会議で話し合い、医師の意見も聞き、利用者個々に合った介護計画を作成している。介護計画は本人や家族に説明して同意を得ている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録は時間で分割されローテーションの中で共有が図れるようにしている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別支援での外出買物対応を行っている。家族の状況を考えて救急・通院対応は出来る限りホームで支援してる。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	同じ町内から継続的にボランティアの工作の先生が来てくれる。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ほぼ毎日施設への往診があり個別で対応している。スタッフからの情報提供、医療からの注意点・連絡などもスムーズに行われている。	受診する医療機関の選択は、本人や家族の希望を優先している。現在は協力医療機関の医療を受けられるように支援している。診療は月2回ある。利用者に心身の変化があった際や緊急時には24時間協力医や訪問看護師に相談や指示が受けられる体制がある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護と24時間のオンコールを行っており、直接病院の窓口から看護師・担当医に連絡をつける事が出来る。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>地域医療の担当者と話し合いが行われ早期の退院に向けて努めている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重症化や治療困難な疾病が発生した場合には医師・施設・ご家族(本人)での調整が行われ早期発見に努め可能な限りホームでの生活を支援している。</p>	<p>重度化や終末期の対応について、法人としては実施する方針であるが、事業所としては体制が整っていないため現状では考えていない。家族から重度化や看取りについて要望があった場合は、医師、看護師、職員、家族と話し合いできる範囲で対応している。</p>	<p>法人と連携をとり、実施する際に協力医療機関の医師と共にチームで支援できる体制を作ることと職員が必要な研修を受けることが望まれる。</p>
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応はマニュアルに沿って行い実施している。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>毎月防災訓練を行っている。今年は消防署立会いのもとで検証避難訓練を行った。</p>	<p>毎月自主的に避難訓練を行っている。消防署の指導による避難訓練は年2回行っている。(避難訓練計画の作成、職員の役割、実施、報告書の提出)非常用食料、飲料水、備品の備蓄は用意されている。</p>	<p>昨年度の目標達成計画の課題として備蓄と地域との連携をあげているが、備蓄は達成されている。地域住民の避難訓練への協力についてさらに町内会や運営推進会議に働き掛け地域との協力体制を築くことが望まれる。</p>

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	「個人の尊厳ある暮らし」が理念であるので利用者様を一人の人間として相手を敬う姿勢で対応している。	管理者は入職時のオリエンテーションや日々の業務の中で利用者の人格の尊重やプライバシーを損ねない言葉づかい、対応について十分配慮するように職員に対して指導している。利用者の個人情報を含む書類は事務室に保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	悩み事や希望などを聞きだせるように担当制が個別で対応している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の身体状態に合わせ入浴の順番や曜日を変えている。朝のラジオ体操時におおまかな一日の流れを伝え今日何がしたいかを利用者様に希望を聞いている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	カットは利用者の希望を聞きながら理美容の免許を持っているスタッフがやっている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は業者に調達し飽きのこないメニューにしている。行事や状況に合わせてメニューのアレンジを利用者様と一緒に考え調理をしている。	献立と食材は業者に依頼し、調理は職員が行っている。職員は介助の必要な方の横に座り、食卓を囲み会話を楽しみながら食事をしている。盛り付けや後片付けは、できる方は職員と一緒にやっている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>その方の嚥下能力を見ながら食事形態を変更し対応している。水分や食事の摂取量は全て記録している。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食口腔ケアを行っている。口腔ケアが難しい方には訪問歯科に相談し指導も受けている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>朝のラジオ体操や食事等で排泄リズムが整うように支援し個別毎に排泄パターンを把握し排泄介助を行っている。</p>	<p>排泄チェック表を活用し、利用者個々の排泄パターンを把握して事前にトイレへ誘導し、自立に向けた支援をしている。失禁時には、さりげなくトイレや状況により浴室に誘導して身体の清潔を保つようにしている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>現病歴・既往歴を把握し個別に乳製品を提供し対応している。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>好きな時間に入浴出来るように対応し週3回以上の原則に従いながら適宜行っている。</p>	<p>入浴表を作成して午後に入浴している。希望があればいつでも入浴できるように支援している。週2~3回入浴している。入浴しながらいない方には時間をずらしたり、タイミングを見たりして柔軟に対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>利用者様の状況に応じて午後に昼寝をして頂くように支援している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>かかりつけ薬局を確保しており薬の内容や副作用についての説明があり服薬の支援と症状の変化があった時はすぐに相談している。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>生活歴の把握をしながら、現在その方がやりたい事・出来ることを察知し支援・提供している。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>近所の公園や神所への散歩は一人ひとりの状態に合わせて支援している。遠出の外出時には家族にも協力を呼びかけ参加してもらっている。</p>	<p>天候がよければ毎日職員が付き添い散歩（近くの公園）や買い物（コンビニ）に出かけている。歩行の困難な方は車椅子を使って出かけたたり、外気浴などで楽しんでいる。季節の花見など遠出の場合は、法人内の車（運転手つき）と家族に協力を得て出かけている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者様からお財布を預かっており買物に行く際はお財布を持ってもらい近所でのおつかいのやりとりをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の引継ぎやハガキや便箋を用意して郵便物のやり取りを支援している。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内装飾は季節の物や利用者の作品などで居心地が良い空間を演出し雑多にならないように配慮している。	建物は木造建築のため内部は木のぬくもりがあり、掃除が行き届いて清潔である。居間にはテレビ、ソファ、テーブルが置かれている。玄関や居間には工作ボランティアの指導による十五夜のちぎり絵などが飾られ生活感や季節感を取り入れて居心地よく過ごせる工夫をしている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールが一つの共有空間なので椅子やソファで居場所を工夫し玄関前にもベンチを設置したり利用者同士が思い思いに過ごせるよに空間を工夫をしている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居宅時に使用していた家具やテレビなど馴染みのものを持ち込んでもらい居心地良く過ごせる場所を作っている。	居室には、家族の写真、人形、ぬいぐるみや習字の作品のほか使い慣れたベット、テレビ、タンスなどの家具を持ち込み居心地よく過ごせるように工夫されている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	場所の混乱が無いように自室に表札を貼り混乱を防ぎ日常生活が安全かつ自立した生活が送れるように利用者が必要とする日用品の提供の準備を行っている。		

事業所名	グループホーム 啓和
ユニット名	たんぼぼ

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念は、法人の共通理念をもとに掲示するだけでなく職員が日常の業務に生かし実践できるように努めている。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>町内会とのイベントに参加させてもらっている。節分やお祭り・盆踊り・運動会への参加をしている。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>介護相談室の設置と施設外部に掲示物でお知らせをしている。他施設や介護保険の使い方等の説明。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>町内会長や地元の有識者や地域包括支援センターの方から意見を聞く機会として防火・防災活動への参加、小学校の課外授業での利用を通じて情報交換の場として提供を努めている。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センターや市の担当者から独居高齢者の支援についての相談や情報交換をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>マニュアルを利用し身体拘束をしないことを周知徹底し止むを得ず行った場合にも家族の同意を得て行い、緩和・撤廃にむけて努力をしている。フロア入り口は家族の同意を得て施錠。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待対応マニュアルを利用し理解を深め隠れた虐待の可能性は入浴時にスキンチェックを行い確認している。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見人に相談・協力してもらっている。また、入居の方においても必要があれば説明や関係機関への紹介を行っている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書のほかに説明を行いながら重要事項説明書・ご家族同意書を作成している。苦情等は、随時受け付けている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>定期的に評価とモニタリングを行いご家族に確認または郵送している。家族が来訪時に聞き取りを行い問題点・疑問点を吸い上げている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、フロア毎の会議を開催し日ごろから提案や意見、気付いた事を話している。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	交付金の利用により手当での改善を行った。介護職員処遇改善計画書の掲示。研修への参加費用は負担をしている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月施設内掲示版に講習会の情報を掲示し参加を促している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	デイサービスで行われている倶会に参加したり遠足時に人員の協力をお願いしている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時に、本人が困っている事や不安なことが無い傾聴し本人やご家族が安心してサービスを受けられるような安心を確保する関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>初期相談にて対応している。場合によってはご自宅まで行くこともある。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>他サービスを必要だと思われる方には紹介を行ったり相談に乗るようにしている。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の立場になって物事を考える。信頼関係を得た上で本人・本意での生活を支援している。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>イベント等に家族への参加を呼びかけを行い協力してもらうことにより職員と家族との関係を築いている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族を通じて友人宅などに連絡を入れホームに來訪して頂けるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係をうまく関わられるように毎日少なくとも皆で話しをする時間を設けている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご退去時に必要な支援や他機関への紹介を行ったりご家族へ連絡を入れその後の近況を聞いている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	担当のスタッフが本人の希望・意見を聞き出来るだけ希望に沿うように支援している。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとり利用者さんの生活歴を把握して出来るだけ今までの生活を継続出来るように努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとり利用者さんの心身状態・残存能力を把握しその方に合った生活を支援して毎日楽しく過ごせるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画を作成するに当たり家族や担当スタッフ・医療担当者から情報を頂き三ヶ月毎に介護計画を作成し状態の変化があった時は随時見直している。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録は時間で分割されローテーションの中で共有が図れるようにしている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>個別支援での外出買物対応を行っている。家族の状況を考えて救急・通院対応は出来る限りホームで支援してる。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>同じ町内から継続的にボランティアの工作の先生が来てくれる。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を楽しみながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ほぼ毎日施設への往診があり個別で対応している。スタッフからの情報提供、医療からの注意点・連絡などもスムーズに行われている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	訪問看護と24時間のオンコールを行っており、直接病院の窓口から看護師・担当医に連絡をつける事が出来る。		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	地域医療の担当者と話し合いが行われ早期の退院に向けて努めている。		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重症化や治療困難な疾病が発生した場合には医師・施設・ご家族(本人)での調整が行われ早期発見に努め可能の限りホームでの生活を支援している。		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時の対応はマニュアルに沿って行い実施している。		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	毎月防災訓練を行っている。今年度は消防署立会いのもとで検証避難訓練を行った。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	「個人の尊厳ある暮らし」が理念であるので利用者様を一人の人間として相手を敬う姿勢で対応している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	悩み事や希望などを聞きだせるように担当制が個別で対応している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の身体状態に合わせ入浴の順番や曜日を変えている。朝のラジオ体操時におおまかな一日の流れを伝え今日何がしたいかを利用者様に希望を聞いている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	カットは利用者の希望を聞きながら理美容の免許を持っているスタッフがやっている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は業者に調達し空きのこないメニューにしている。行事や状況に合わせてメニューのアレンジを利用者様と一緒に考え調理をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>その方の嚥下能力を見ながら食事形態を変更し対応している。水分や食事の摂取量は全て記録している。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食口腔ケアを行っている。口腔ケアが難しい方には訪問歯科に相談し指導も受けている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>朝のラジオ体操や食事等で排泄リズムが整うように支援し個別毎に排泄パターンを把握し排泄介助を行っている。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>現病歴・既往歴を把握し個別に乳製品を提供し対応している。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>好きな時間に入浴出来るように対応し週3回以上の原則に従いながら適宜行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の状況に応じて午後には昼寝をして頂くように支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	かかりつけ薬局を確保しており薬の内容や副作用についての説明があり服薬の支援と症状の変化があった時はすぐに相談している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴の把握をしながら、現在その方がやりたい事・出来ることを察知し支援・提供している。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所の公園や神所への散歩は一人ひとりの状態に合わせて支援している。遠出の外出時には家族にも協力を呼びかけ参加してもらっている。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様からお財布を預かっており買物に行く際はお財布を持ってもらい近所でのおつかいのやりとりをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の引継ぎやハガキや便箋を用意して郵便物のやり取りを支援している。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内装飾は季節の物や利用者の作品などで居心地が良い空間を演出し雑多にならないように配慮している。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールが一つの共有空間なので椅子やソファで居場所を工夫し玄関前にもベンチを設置したり利用者同士が思い思いに過ごせるよに空間を工夫をしている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居宅時に使用していた家具やテレビなど馴染みのものが持ち込んでもらい居心地良く過ごせる場所を作っている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	場所の混乱が無いように自室に表札を貼り混乱を防ぎ日常生活が安全かつ自立した生活が送れるように利用者が必要とする日用品の提供の準備を行っている。		